

先天性大脳白質形成不全症の克服へ向けて

第15回市民公開セミナー

テーマ：治療法開発の最前線

先天性大脳白質形成不全症は、ペリツェウス・メルツバッハ病などの稀ながら重度の障害を伴う小児難治性神経疾患です。第15回セミナーでは、本疾患の治療法開発に向けた研究の現状について取りあげます。特別講演として、昨年に引き続き、再生治療に関する基礎研究を行っている大阪医科大学の近藤洋一先生にお話を頂きます。

日時 平成30年11月3日(祝)

受付：12時～ 講演：13～16時

場所 大阪医科大学 新講義実習棟 1階 P101 講義室

大阪府高槻市大学町2番7号 電話 072-683-1221 (代)

【講演】

● 先天性大脳白質形成不全症の治療を目指して

自治医科大学 小児科 小坂 仁

● クルクミンによる PMD 治療の可能性と国際協同

国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 井上 健

● 【特別講演】 髄鞘の再生をめざす基礎研究

大阪医科大学 解剖学 近藤洋一

主催 先天性大脳白質形成不全症リサーチ・ネットワーク

「先天性大脳白質形成不全症の臨床的基盤を明らかにするための研究」班

「遺伝性白質疾患・知的障害をきたす疾患の診断・治療・研究システム構築」班

ウェブサイト：<http://plaza.umin.ac.jp/~pmd/>

連絡先 先天性大脳白質形成不全症親の会

事務局 (pmd-info@m7.gyao.ne.jp)

参加希望者は上記までメールにて事前登録(締め切り10月31日)をお願いします。情報は上記ウェブサイトへアップいたします。

会場へのアクセスの詳細は大阪医科大学ホームページ(<http://www.osaka-med.ac.jp/>)をご参照ください。

セミナーへの参加費は無料です。会場は右矢印(19番)です。車でご来場の方は、北門入ってすぐの立体駐車場(マップ06番)をご利用ください。

大阪医科大学キャンパス

